

平成25年第3回八千代町議会定例会会議録（第4号）

平成25年9月20日（金曜日）午前9時39分開議

本日の出席議員

議長（9番）	水垣 正弘君		
1番	国府田利明君	2番	大里 岳史君
3番	廣瀬 賢一君	4番	上野 政男君
5番	中山 勝三君	6番	生井 和巳君
7番	相沢 政信君	11番	小島 由久君
12番	宮本 直志君	13番	大久保敏夫君
14番	湯本 直君		

本日の欠席議員

副議長（8番） 大久保 武君

説明のため出席をしたる者

町 長	大久保 司君	副 町 長	生井 光男君
教 育 長	高橋 昇君	会 計 管 理 者	小竹 貞男君
秘 書 課 長	飯島 英男君	総 務 課 長	浜名 進君
企画財政課長	斉藤 実君	税 務 課 長	青木 良夫君
町 民 課 長	横島 広司君	福祉保健課長	相田 敏美君
生活環境課長	岡田 昭夫君	産業振興課長	谷中 聰君
都市建設課長	上野 真一君	上下水道課長	埴 陽一君
農業委員会 事務局 長	秋葉三佐男君	教育次長兼 学校教育課長	水書 正義君
公民館長兼 生涯学習課長	鈴木 一男君	給食センター 所 長	鈴木 忠君
総 務 課 長 補 佐	宮本 克典君	企 画 財 政 課 参 事	青木 喜栄君

議会事務局の出席者

議会事務局長 野村 勇 主 査 小林 由実

主 任 外山 勝也

議長（水垣正弘君） 引き続きご参集をくださいませ、まことにありがとうございます。

ただいまの出席議員数は12名であります。よって、定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

（議長が了承を求めた議事日程は次のとおり）

議 事 日 程 （第4号）

平成25年9月20日（金）午前9時開議

- 日程第1 認定第1号 平成24年度八千代町歳入歳出決算の認定について
認定第2号 平成24年度八千代町水道事業決算の認定について
請願第1号 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願
請願第2号 教育予算の拡充を求める請願
（各常任委員長報告、審議、採決）
- 日程第2 議第 1号 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書の提出について
- 日程第3 議第 2号 教育予算の拡充を求める意見書の提出について
- 日程第4 議第 3号 道州制導入に反対する意見書の提出について
- 日程第5 議員派遣の件
- 日程第6 閉会中の継続調査の件
- 閉 会

-
- 日程第1 認定第1号 平成24年度八千代町歳入歳出決算の認定について
認定第2号 平成24年度八千代町水道事業決算の認定について
請願第1号 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願
請願第2号 教育予算の拡充を求める請願

議長（水垣正弘君） 日程第1、認定第1号 平成24年度八千代町歳入歳出決算の認定について、認定第2号 平成24年度八千代町水道事業決算の認定について、請願第1号

B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願について、請願第2号 教育予算の拡充を求める請願についてを一括議題といたします。

本件につきましては、去る9月12日の本会議において関係常任委員会に付託してありますので、各常任委員会の審査の経過と結果について委員長の報告を求めます。

初めに、総務常任委員会の審査の経過と結果について委員長の報告を求めます。

上野総務常任委員長。

(総務常任委員長 上野政男君登壇)

総務常任委員長(上野政男君) ただいま議長のご指名をいただきましたので、総務常任委員会に付託されました案件の審議の経過と結果についてご報告をいたします。

当委員会に付託されました案件は、認定第1号中、平成24年度一般会計決算の歳入の全部と歳出の議会費、総務費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費、民生費の一部であります。

当委員会は、委員4名出席のもと、去る9月17日、午前9時から役場第5会議室において、町執行部より副町長及び関係課長等の出席を求め、それぞれ担当課長等からの詳細に説明を受け、慎重に審議をいたしました。

その結果、認定第1号中、平成24年度一般会計決算の歳入の全部と歳出の議会費、総務費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費、民生費の一部については、出席委員全員異議なく、原案のとおり認定することに決定をいたしました。

以上、総務常任委員会に付託されました案件の審議の経過と結果についてご報告を申し上げますが、議員各位のご賛同をお願いを申し上げ、報告といたします。

議長(水垣正弘君) 次に、教育民生常任委員会の審査の経過と結果について委員長の報告を求めます。

中山教育民生常任委員長。

(教育民生常任委員長 中山勝三君登壇)

教育民生常任委員長(中山勝三君) ただいま議長のご指名をいただきましたので、教育民生常任委員会に付託されました案件の審議の経過と結果についてご報告いたします。

当委員会に付託されました案件は、認定第1号中、一般会計決算の歳出の民生費、衛生費、教育費、総務費の一部、国民健康保険特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、介護保険特別会計歳入歳出決算及び請願第1号 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願、請願第2号 教育予算の拡充を求める請願

についてであります。

当委員会は、委員3名出席のもと、去る9月17日、午後1時30分から役場4階第6会議室において、教育長及び関係課長等の出席を求め、各項目ごとに担当課長等から詳細に説明を受け、慎重に審議をいたしました。

その結果、認定第1号中、一般会計決算の歳出の民生費、衛生費、教育費、総務費の一部及び国民健康保険特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、介護保険特別会計歳入歳出決算については、全委員異議なく、原案のとおり認定することに決定いたしました。

次に、請願第1号 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願及び請願第2号 教育予算の拡充を求める請願については、全委員異議なく、採択することに決定いたしました。

以上、教育民生常任委員会に付託されました案件の審議の経過と結果についてご報告申し上げましたが、議員各位のご賛同を賜りますようお願い申し上げまして、報告いたします。

議長（水垣正弘君） 次に、産業建設常任委員会の審議の経過と結果について委員長の報告を求めます。

相沢産業建設常任委員長。

（産業建設常任委員長 相沢政信君登壇）

産業建設常任委員長（相沢政信君） ただいま議長の指名がありましたので、産業建設常任委員会の審議の経過と結果についてご報告を申し上げます。

当委員会に付託されました案件は、認定第1号中、一般会計決算歳出の衛生費、労働費、農林業費、商工費、土木費及び八千代中央土地区画整理事業特別会計決算、八千代町農業集落排水事業特別会計決算、八千代町下水道事業特別会計決算並びに認定第2号、八千代町水道事業決算についてであります。

当委員会は、9月18日、午前9時より役場4階第7会議室において、委員4名並びに町執行部より産業振興課長、農業委員会事務局長、都市建設課長、上下水道課長、産業振興課参事、農業委員会事務局参事、都市建設課参事、上下水道課参事の出席を求め開催をいたしました。

当決算に基づき、それぞれ担当課長等から各項目について詳細な説明を受け、慎重に審議した結果、認定第1号中、一般会計決算歳出の衛生費、労働費、農林業費、商工費、

土木費及び八千代中央土地区画整理事業特別会計決算、八千代町農業集落排水事業特別会計決算、八千代町下水道事業特別会計決算並びに認定第2号、八千代町水道事業決算については、全会一致で認定することに決定をいたしました。

以上、産業建設常任委員会に付託されました案件の審議の経過と結果についてご報告を申し上げましたが、議員各位のご賛同をくださいますようお願いを申し上げまして、報告といたします。

議長（水垣正弘君） 以上で各常任委員長の報告を終わります。

これより各委員長報告に対する質疑を許します。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（水垣正弘君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（水垣正弘君） 討論なしと認めます。

これから採決いたします。

初めに、認定第1号を採決いたします。

認定第1号 平成24年度八千代町歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（水垣正弘君） 異議なしと認めます。

よって、認定第1号 平成24年度八千代町歳入歳出決算の認定については、原案のとおり認定することに決定いたしました。

次に、認定第2号を採決いたします。

認定第2号 平成24年度八千代町水道事業決算の認定については、原案のとおり認定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（水垣正弘君） 異議なしと認めます。

よって、認定第2号 平成24年度八千代町水道事業決算については、原案のとおり認定することに決定をいたしました。

次に、請願第1号 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願を採決いたします。

請願第1号に対する教育民生常任委員長の報告は採択であります。

お諮りいたします。委員長報告のとおり採択と決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(水垣正弘君) 異議なしと認めます。

よって、請願第1号 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願については、委員長報告のとおり採択と決定いたしました。

次に、請願第2号 教育予算の拡充を求める請願を採決いたします。

請願第2号に対する教育民生常任委員長の報告は採択であります。

お諮りいたします。委員長報告のとおり採択と決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(水垣正弘君) 異議なしと認めます。

よって、請願第2号 教育予算の拡充を求める請願については、委員長報告のとおり採択と決定いたしました。

日程第2 議第1号 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書の提出について

議長(水垣正弘君) 日程第2、議第1号 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書の提出についてを議題といたします。

本案については、全員協議会において説明済みでありますので、朗読及び提案理由を省略し、直ちに質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(水垣正弘君) 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(水垣正弘君) 討論なしと認めます。

これから議第1号 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書の提出についてを

採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(水垣正弘君) 異議なしと認めます。

よって、議第1号 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書の提出については、原案のとおり可決されました。

日程第3 議第2号 教育予算の拡充を求める意見書の提出について

議長(水垣正弘君) 日程第3、議第2号 教育予算の拡充を求める意見書の提出についてを議題といたします。

本案については、全員協議会において説明済みでありますので、朗読及び提案理由を省略し、直ちに質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(水垣正弘君) 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(水垣正弘君) 討論なしと認めます。

これから議第2号 教育予算の拡充を求める意見書の提出についてを採決いたします。お諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(水垣正弘君) 異議なしと認めます。

よって、議第2号 教育予算の拡充を求める意見書の提出については、原案のとおり可決されました。

日程第4 議第3号 道州制導入に反対する意見書の提出について

議長(水垣正弘君) 日程第4、議第3号 道州制導入に反対する意見書の提出についてを議題といたします。

本案については、全員協議会において説明済みでありますので、朗読及び提案理由を

省略し、直ちに質疑を行います。

質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

議長(水垣正弘君) 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

5番、中山勝三議員。

(5番 中山勝三君登壇)

5番(中山勝三君) 大変失礼しました。ただいま議長の許可をいただきましたので、議題となっております道州制導入に反対する意見書についての反対討論を行わせていただきます。

現在の日本の行政は、全国一律に画一的な政策を進める中央集権型の体制です。しかし、地方が直面する過疎化などの課題や多様化する住民のニーズに対応するため、国の統治機構を大きく変え、地域の潜在力を発揮する新しい国の形の構築が急務になっています。地域主権型道州制は、現在の47都道府県の行政単位を廃止して、全国を10程度の道または州に再編、国、広域行政の道州、基礎自治体の市町村の3層構造にし、国と地方の仕事を明確に役割分担します。

明治維新以来、我が国は中央集権体制のもとで大きな発展をなし遂げてきました。しかし、今日では東京圏だけが繁栄を謳歌し、地方は押しなべて衰退しているありさまです。しかも唯一繁栄する東京圏ですら、国際的な地位は低下を続けております。このままでは、日本はいずれ経済的にも三流国になってしまう可能性があります。これは、東京で中央官僚が画一的に政策を決め、地方を手足として指示し、実施させる中央集権体制が制度疲労を起こしていることが根本的な原因と考えられます。

中央集権体制のもとでは、受益と負担の関係が見えづらく、ニーズに合わない社会資本整備など多くの無駄と財政赤字を生んできました。こうした問題を解決するためには、小手先の制度改正ではなく、国の形を根本的に変える改革が必要です。それが中央集権体制と決別し、道州それぞれが繁栄の拠点を築く地域主権型道州制でございます。

地域主権型道州制は、我が国を中央集権型国家から分権型国家に変える地方分権改革の総仕上げであるとともに、官僚主導の社会経済構造を改める究極の構造改革としても求められるものであります。こうすることで、中央と地方の二重行政を解消し、国の権

限や財源、人材を大胆に地方に移譲し、地域の主体性を最大限に尊重した地方分権を進めます。

また、道州制の実現により、中央省庁のスリム化や現行の都道府県単位の選挙区も見直しが必要となることで、国家公務員と国会議員の数の大幅削減も可能となります。そして、国は外交や防衛など国家の存立にかかわる事務に専念するということとなります。このように国、道州、基礎自治体の市町村が明確な役割分担のもと、それぞれが独立した権限とみずからの税財源を持つことで、地域が自由で独創的な活動をできるようにするという新しい国の形を意味します。

この地域主権型道州制は、単なる都道府県合併でもなければ、国の出先機関を統合する国主導型道州制とも異なり、中央政府の解体再編と地域政府の確立を目指すものです。ただし、アメリカのように各州が独自に憲法や軍を持つ連邦制とは違い、現行の日本国憲法の中で実現できる改革なのです。

以上のような理由の上から、地域主権型道州制へと移行することが必要であると考えますので、道州制導入に反対する意見には反対をいたしまして、討論といたします。

議長（水垣正弘君） そのほかに討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（水垣正弘君） これで討論を終わります。

これから採決をいたします。

この採決は起立により行います。

議第3号 道州制導入に反対する意見書の提出については、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（起立多数）

議長（水垣正弘君） 起立多数であります。

よって、道州制導入に反対する意見書の提出については、原案のとおり可決されました。

日程第5 議員派遣の件

議長（水垣正弘君） 日程第5、議員派遣の件を議題といたします。

本件につきましては、会議規則第129条の規定により、お手元に配付のとおり決定したいと思います。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（水垣正弘君） 異議なしと認めます。

よって、議員派遣の件につきましては、お手元に配付のとおり決定をいたしました。

日程第6 閉会中の継続調査の件

議長（水垣正弘君） 日程第6、閉会中の継続調査の件を議題といたします。

本件につきましては、会議規則第75条の規定により、議会運営委員長より別紙のとおり報告がありましたので、委員長の報告のとおり閉会中の継続調査と決定いたしたいと思っておりますので、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（水垣正弘君） 異議なしと認めます。

よって、委員長報告のとおり閉会中の継続調査と決定をいたしました。

議長（水垣正弘君） 以上で本定例会に付議されました議案は全て議了いたしました。

ここで、町長より挨拶したい旨の申し出がありましたので、許可をいたします。

町長。

（町長 大久保 司君登壇）

町長（大久保 司君） 平成25年の八千代町議会第3回定例の終了に当たりまして、一言御礼の挨拶をさせていただきます。

議員各位には、開会以来本日までの10日間にわたり慎重なるご審議を賜り、ありがとうございました。

本定例会の認定審査でございますが、125億3,400万円余りの認定をいただきまして、さらに各会計の予算を初め議案9件の重要案件につき議了いただき、厚く御礼申し上げます。また、町勢発展のため、ご同慶の至りであります。

審議、質問におかれましても、慎重なるご意見、要望事項につきましては、真摯に受けとめ、細部の町政執行に当たりまして反映していく所存でございます。

今後も、第5次総合計画年次計画に基づきまして、事務事業の遂行に努め、本年度より継続事業となる八千代第一中学校の新校舎の完成に向けて全力を傾注してまいります。

終わりに臨みまして、議員各位の限りないご発展とご健勝、ご多幸をご祈念いたしまして、簡単ではありますが、御礼の挨拶にかえさせていただきます。まことにありがとう

ございました。

議長（水垣正弘君） 閉会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

去る9月11日の開会以来、本日までの10日間にわたり、議員各位におかれましては慎重審議をいただき、本日をもって閉会の運びとなり、まことにありがとうございました。

町長を初め執行部の方々におかれましても、審議に当たり終始ご協力いただきましたこと、感謝を申し上げます。今回の審議の過程で各議員からの意見、要望等を十分に尊重され、今後の行政運営に反映されますよう強く要望いたします。

結びに、皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、平成25年第3回定例会を閉会といたします。

（午前10時05分）

地方自治法第123条の規定によりここに署名する。

議 長 水 垣 正 弘

署 名 議 員 相 沢 政 信

署 名 議 員 小 島 由 久